

令和5年度
在宅医療県民意識調査
実施報告書

令和6年2月
一般社団法人 長野県医師会

アンケート調査の概要

▶ 調査実施

▶ 調査実施日

- ▶ 令和6年(2023年) 2月8日(木)～12日(月)

▶ 調査対象

- ▶ 長野県内在住30歳～60歳以上

▶ 実施方法

▶ ネットアンケート

- ▶ 楽天リサーチのシステム利用

▶ 回答者数

- ▶ 長野県内在住者 1,000人

▶ 基礎データ

▶ 年代比率



▶ 性別年代比率



※年代比率および性別年代比率について、70代、80代のネット利用者が少ないことから、調査客体を確保するため、60代以上として調査を実施。

アンケート実施画面1

テーマ「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について」

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称です。
アドバンス・ケア・プランニングとは、これからの人生や生活において、あなたの大切にしていることや希望、どのような医療やケアを望んでいるかについて自ら考え、あなたの信頼する人たちと繰り返し話し合うことを言います。

Q1 あなたは「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉をごどんなメディアで知りま
必須 したか。

- 1. 県や市町村の広報（誌）
- 2. テレビ・ラジオ
- 3. ポスター・パンフレット
- 4. インターネット
- 5. 聞いたことがなかった（いま、ここで知った）
- 6. その他

次へ

2ページ

Q2 あなたは、最期の医療・ケア（延命治療など）が必要になった場合、どこで治療したいですか。
必須 （いくつでも）

- 1. 自宅で
- 2. 病院などの医療施設
- 3. 特別養護老人ホームなどの介護施設
- 4. 考えたくない（特断）
- 5. その他

次へ

3ページ

Q3 あなたは、ご自身の体調が悪い時や困った時に何でも相談できるかかりつけ医を持っていますか。
必須

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

次へ

3ページ

アンケート実施画面2

Q3で「かかりつけ医を持っている」と答えた人に対する設問

■人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医等に相談して、正確な情報を知ることが大切になります。

Q4-1 **必須** あなたは、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けていますか。

- 1. 説明を受けている
- 2. 説明を受けていない

次へ

Q4-2

Q4-2 **必須** あなたは、ご自身の健康や病状が末期ガンや治らない病気である場合も、これからの人生や生活を考えるにあたり、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けたいと思いますか。

- 1. 説明を受けたい
- 2. 説明を受けたくない

次へ

Q5

Q5 **必須** 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示してくれる代理人を選ぶことが大切になります。あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

- 1. 代理人を決めている
- 2. 代理人を決めていない

次へ

Q6

Q6 **必須** 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人（ご家族や親戚など）と話し合い（人生会議）をしていますか。

- 1. している
- 2. していない

Q6-1

Q6-1 **必須** どなたと話し合いをされていますか。（いくつでも）

- 1. ご家族
- 2. 親戚
- 3. ご友人
- 4. かかりつけ医
- 5. かかりつけ医以外の医療関係者
- 6. その他

次へ

アンケート実施画面3

Q6で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q6-2 どのようなことを話し合われていますか。
必須 (いくつでも)

- 1. 延命治療（人工呼吸器設置や胸ろりの埋設）を実施するかどうか
- 2. 在宅での急病時に救急要請を行うかどうか
- 3. 在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか
- 4. 介護・ケアを誰にお任せするか
- 5. その他

次へ

2ページ

Q6で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q6-3 人生会議で話し合ったことを書面に残したものを「リビングウィル（事前指示書）」といいます。
必須 あなたはこの「リビングウィル（事前指示書）」の存在をご存知ですか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

次へ

3ページ

Q6で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q6-4 人生会議で話し合った内容を書面「リビングウィル（事前指示書）」に残していますか。
必須

- 1. 残している
- 2. 残していない

次へ

4ページ

Q6で「話し合いをしていない」と答えた人への設問

Q6-5 人生会議という話し合いをされていない理由は何ですか。
必須

- 1. 関心がない、話し合う必要がない
- 2. まだ話し合う時期ではない（健康である、年齢が若いなど）
- 3. 話し合いをしたいが、話をする人がいない
- 4. その他

次へ

5ページ

アンケート実施画面4

Q7 今後、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いませんか。
必須

- 1. 思う
- 2. 思わない
- 3. どちらとも言えない

次へ

2ページ

Q8 もし、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。（いくつでも）
必須

- 1. 家族の生活態の負担
- 2. 経済面の負担
- 3. 医療とケア面のサポート体制
- 4. 自分の自由な時間の過ごし方
- 5. 家族や友人との時間の過ごし方
- 6. 延命治療についての対応
- 7. その他

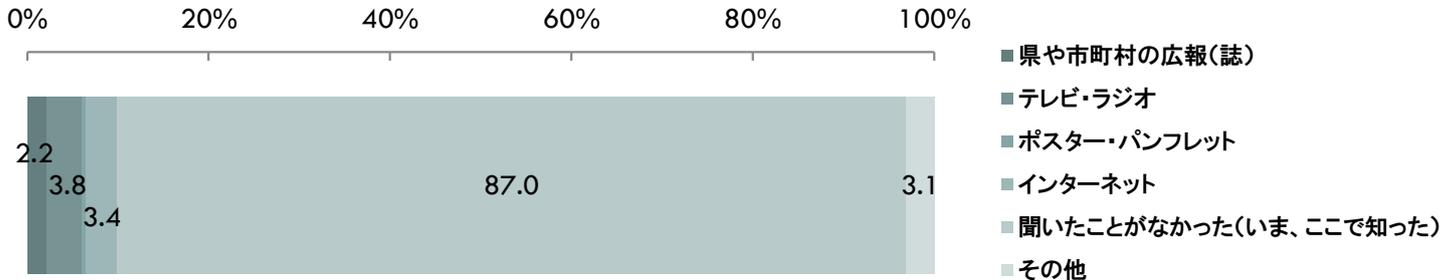
次へ

2ページ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

アンケート結果および考察

▶ Q1.あなたは「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」という言葉をごどんなメディアで知りましたか。



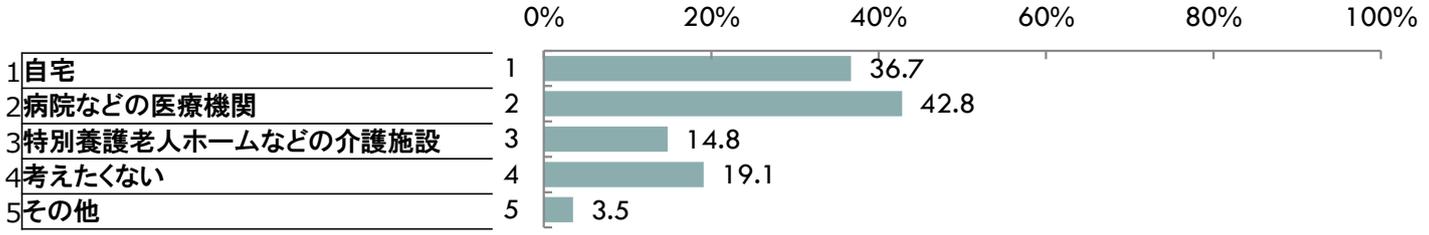
		n	県や市町村の広報誌	テレビ・ラジオ	ポスター・パンフレット	インターネット	聞いたことがなかった(いま、ここで知った)	その他
全体		1000	2.2	3.8	3.4	87.0	3.1	3.1
性別	男性	500	2.2	3.8	0.5	3.4	87.0	3.1
	女性	500	2.4	3.2	0.6	4.2	86.0	3.6
年代	30代	250	9.6	11.2	2.0	9.6	207	12.8
	40代	250	3.6	4.4	0.8	3.6	82.8	4.8
	50代	250	1.6	3.2	0.8	4.8	86.8	2.8
	60代以上	250	4.0	11.0	0.0	9.0	222	4.0
割付	<男性>30代	125	6.4	8.0	1.6	6.4	98	6.4
	<男性>40代	125	4.8	6.4	0.8	4.8	78.4	4.8
	<男性>50代	125	1.6	4.0	1.6	7.2	109	3.2
	<男性>60代以上	125	0.8	3.2	0.8	5.6	87.2	2.4
	<女性>30代	125	3.2	2.0	0.0	5.6	112	3.2
	<女性>40代	125	2.4	1.6	0.0	4.0	89.6	2.4
	<女性>50代	125	1.6	1.6	0.8	2.4	88.8	4.8
	<女性>60代以上	125	2.4	3.2	0.8	4.0	87.2	4.8
	<男性>30代	125	3.2	4.0	1.6	3.2	109	6.4
	<女性>30代	125	2.4	2.4	0.8	2.4	87.2	4.8

【考察】
 これまでの同調査では、言葉の認知度調査を実施。「知っている」との回答者数は、平成30年度 66人、令和1年度 133人、令和2年度 88人、令和3年度 80人、令和4年度 80人、ほぼ変化なしであった。今回は、設問方法を変えて、メディア要因を入れた。その結果、認知度としては、令和5年度 130人という微増の結果である。性年代別では、30代男性の認知度がやや高いが有意な差ではない。メディア別では、電波媒体とネット媒体が多かった。回答者がネット利用者であることを加味すると、電波媒体の優位性が認められる。

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

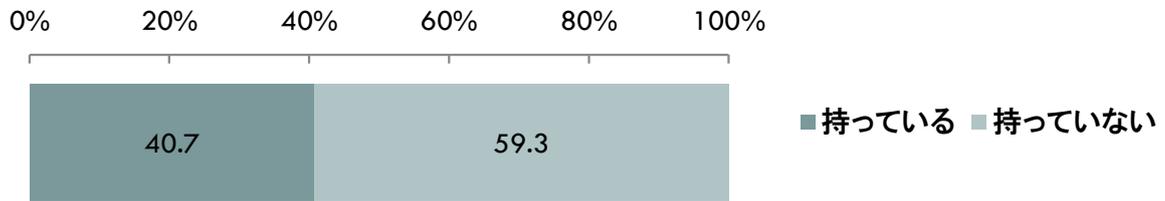
▶ Q2.あなたは、最期の医療・ケア(延命治療など)が必要になった場合、どこで治療したいですか。(いくつでも)



		n	自宅	病院などの医療機関	特別養護老人ホームなどの介護施設	考えたくない	その他
全体		1000	36.7	42.8	14.8	19.1	3.5
性別	男性	500	19.5	19.9	6.1	10.7	1.6
	女性	500	17.2	22.9	8.7	8.4	1.9
年代	30代	250	10.9	9.1	3.8	6.1	0.5
	40代	250	10.6	8.4	3.2	4.8	1.6
	50代	250	8.0	11.9	3.9	4.3	1.0
	60代以上	250	7.2	13.4	3.9	3.9	0.4
割付	<男性>30代	125	5.0	4.3	1.6	3.8	0.3
	<男性>40代	125	6.1	3.7	1.2	2.4	0.8
	<男性>50代	125	4.6	5.3	1.9	2.7	0.3
	<男性>60代以上	125	3.8	6.6	1.4	1.8	0.2
	<女性>30代	125	5.9	4.8	2.2	2.3	0.2
	<女性>40代	125	4.5	4.7	2.0	2.4	0.8
	<女性>50代	125	3.4	6.6	2.0	1.6	0.7
	<女性>60代以上	125	3.4	6.8	2.5	2.1	0.2

【考察】
 最期を迎える場所についての設問。自宅(36.7%)よりも医療・介護施設(57.6%)を望む声が約20%も上回った。
 性年代別では、40代男性、30代女性など若い世代うが「自宅」を望み、60代男性、50代上位女性と、高齢になるほど「医療機関」を望む声が多い。
 世代間の最期イメージについての差が明確に現れ、興味深い結果となった。

▶ Q3.あなたは、ご自身の体調が悪い時や困った時に
何でも相談できるかかりつけ医を持っていますか。



		n	持っている	持っていない
全体		1000	407	593
		100.0	40.7	59.3
性別	男性	500	203	297
		100.0	40.6	59.4
性別	女性	500	204	296
		100.0	40.8	59.2
年代	30代	250	71	179
		100.0	28.4	71.6
	40代	250	96	154
		100.0	38.4	61.6
年代	50代	250	107	143
		100.0	42.8	57.2
年代	60代以上	250	133	117
		100.0	53.2	46.8
割付	<男性>30代	125	34	91
		100.0	27.2	72.8
	<男性>40代	125	43	82
		100.0	34.4	65.6
	<男性>50代	125	61	64
		100.0	48.8	51.2
	<男性>60代以上	125	65	60
		100.0	52.0	48.0
割付	<女性>30代	125	37	88
		100.0	29.6	70.4
	<女性>40代	125	53	72
		100.0	42.4	57.6
割付	<女性>50代	125	46	79
		100.0	36.8	63.2
割付	<女性>60代以上	125	68	57
		100.0	54.4	45.6

【考察】

「持っている」回答者数の推移は、
 令和2年度402人
 令和3年度368人
 令和4年度396人
 令和5年度407人
 ずっと近似値であり有意な差は認められない。

年代別に見ると、男女ともに年代が上がるにつれて、かかりつけ医を「持っている」。
 男女ともに60代以上は50%を超えるという現状である。

Q3で「かかりつけ医を持っている」と答えた407人に対する設問

▶ Q4-1.あなたは、ご自身の健康や病状について、
かかりつけ医から正確な情報として説明を受けていますか。



		n	説明を受けている	説明を受けていない
全体		407	275	132
		100.0	67.6	32.4
性別	男性	203	147	56
		100.0	72.4	27.6
性別	女性	204	128	76
		100.0	62.7	37.3
年代	30代	71	46	25
		100.0	64.8	35.2
	40代	96	54	42
		100.0	56.3	43.8
年代	50代	107	79	28
		100.0	73.8	26.2
年代	60代以上	133	96	37
		100.0	72.2	27.8
割付	<男性>30代	34	23	11
		100.0	67.6	32.4
	<男性>40代	43	28	15
		100.0	65.1	34.9
	<男性>50代	61	47	14
		100.0	77.0	23.0
	<男性>60代以上	65	49	16
		100.0	75.4	24.6
	<女性>30代	37	23	14
		100.0	62.2	37.8
<女性>40代	53	26	27	
	100.0	49.1	50.9	
<女性>50代	46	32	14	
	100.0	69.6	30.4	
<女性>60代以上	68	47	21	
	100.0	69.1	30.9	

【考察】

かかりつけ医を持っている407人が対象。「説明を受けている」人が67.6%と昨年度(74.5%)より6.9%減少している。

年代別では年齢が上がるにつれて、「説明を受けている」比率も増え、相関関係が認められる。60代以上は男性75.4%(82.1%)、女性69.1%(81.5%)である。()内の前年度数値よりも、やや減少している。

Q3で「かかりつけ医を持っている」と答えた407人に対する設問

▶ Q4-2.あなたは、ご自身の健康や病状が末期ガンや治らない病気である場合も、これからの人生や生活を考えるにあたり、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けたいと思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



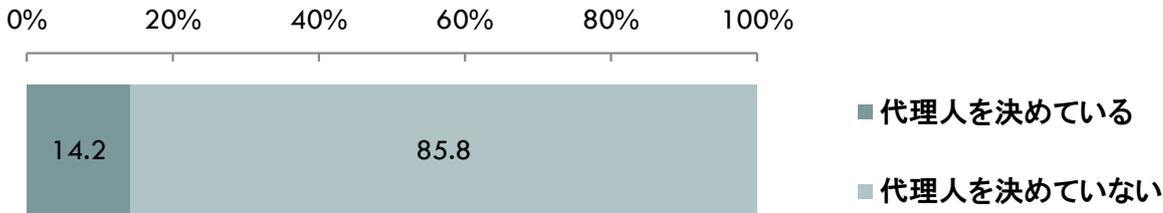
- 説明を受けたい
- 説明を受けたくない

		n	説明を受けたい	説明を受けたくない	
全体		407	359	48	
		100.0	88.2	11.8	
性別	男性	203	180	23	
		100.0	88.7	11.3	
性別	女性	204	179	25	
		100.0	87.7	12.3	
年代	30代	71	62	9	
		100.0	87.3	12.7	
	40代	96	78	18	
		100.0	81.3	18.8	
	50代	107	97	10	
	100.0	90.7	9.3		
年代	60代以上	133	122	11	
		100.0	91.7	8.3	
	割付	<男性>30代	34	29	5
			100.0	85.3	14.7
<男性>40代		43	36	7	
		100.0	83.7	16.3	
割付	<男性>50代	61	55	6	
		100.0	90.2	9.8	
	<男性>60代以上	65	60	5	
		100.0	92.3	7.7	
割付	<女性>30代	37	33	4	
		100.0	89.2	10.8	
	<女性>40代	53	42	11	
		100.0	79.2	20.8	
割付	<女性>50代	46	42	4	
		100.0	91.3	8.7	
割付	<女性>60代以上	68	62	6	
		100.0	91.2	8.8	

【考察】

「説明を受けたい」回答者の推移は、令和2年度86.1%、令和3年度86.7%、令和4年度87.4%、令和5年度88.2%と漸増傾向にある。最も多いのが60代男性の92.3%。最も低いのが40代女性の79.2%である。全体的に高い比率であり、情報開示への風潮が見られる。逆に、「説明を受けたくない」の比率1位が40代女性の20.8%。2位が40代男性の18.8%。これは子育て世代であり、病気に対する不安に直面したくないからと推測できる。

▶ Q5.人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をしてくれる代理人を選ぶことが大切になります。あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

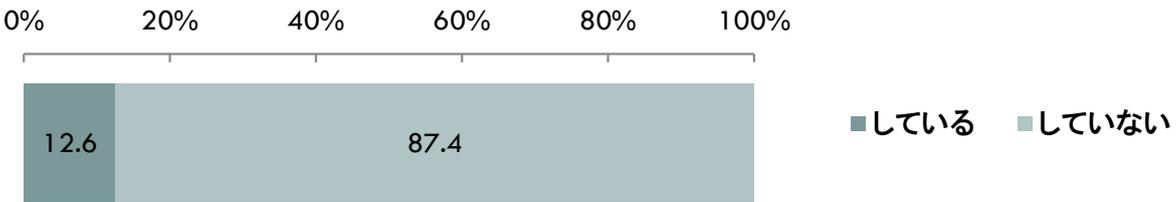


		n	代理人を決めている	代理人を決めていない	
全体		1000	142	858	
		100.0	14.2	85.8	
性別	男性	500	63	437	
		100.0	12.6	87.4	
性別	女性	500	79	421	
		100.0	15.8	84.2	
年代	30代	250	29	221	
		100.0	11.6	88.4	
	40代	250	26	224	
		100.0	10.4	89.6	
年代	50代	250	40	210	
		100.0	16.0	84.0	
年代	60代以上	250	47	203	
		100.0	18.8	81.2	
	割付	<男性>30代	125	11	114
			100.0	8.8	91.2
割付	<男性>40代	125	11	114	
		100.0	8.8	91.2	
割付	<男性>50代	125	18	107	
		100.0	14.4	85.6	
割付	<男性>60代以上	125	23	102	
		100.0	18.4	81.6	
割付	<女性>30代	125	18	107	
		100.0	14.4	85.6	
割付	<女性>40代	125	15	110	
		100.0	12.0	88.0	
割付	<女性>50代	125	22	103	
		100.0	17.6	82.4	
割付	<女性>60代以上	125	24	101	
		100.0	19.2	80.8	

【考察】
「代理人を決めていない」が85.8%と多数派である。若年層になるほど、「決めていない」のは遠い先のことと考えているからだろう。
「代理人を決めている」の1位は60代女性19.7%である。どの年代も男性より女性の方がその比率が高く、総じて、女性のほうが「代理人」に対する必要性の認識があると推察できる。

▶ Q6.人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。

あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人(ご家族や親族など)と話し合い(人生会議)をしていますか。



		n	している (%)	していない (%)
全体		1000	12.6	87.4
性別	男性	500	6.6	43.4
	女性	500	12.0	88.0
年代	30代	250	2.8	22.2
	40代	250	2.0	23.0
	50代	250	3.1	21.9
	60代以上	250	4.7	20.3
	割合		100.0	18.8
割合	<男性>30代	125	1.4	11.1
	<男性>40代	125	0.9	11.6
	<男性>50代	125	1.9	10.6
	<男性>60代以上	125	2.4	10.1
	<女性>30代	125	1.4	11.1
	<女性>40代	125	1.1	11.4
	<女性>50代	125	1.2	11.3
	<女性>60代以上	125	2.3	10.2
割合		100.0	18.4	81.6

【考察】
「人生会議をしている」回答者の経年変化は、令和1年度 17.4%、令和2年度 18.1%、令和3年度 16.1%、令和4年度 14.8%、令和5年度 12.6% やや減少傾向にある。年代別では60代以上が一番多く、これは例年同様である。性年代別を見ると、男女ともに40代の「している」比率が最も少ない。30代が少し多いのは、人生会議を必要とする高齢者の対話相手となる子供世代だからであろう。

Q6で「話し合いをしている」と答えた126人への設問

▶ Q6-1.どなたと話し合いをされていますか。(いくつでも)



		n	ご家族	親族	ご友人	かかりつけ医	かかりつけ医以外の医療介護職	その他
全体		126	114	17	13	15	6	2
		100.0	90.5	13.5	10.3	11.9	4.8	1.6
性別	男性	66	60	10	8	10	4	1
	女性	60	54	7	5	5	2	1
		100.0	90.9	15.2	12.1	15.2	6.1	1.5
年代	30代	28	25	5	2	2	1	0
	40代	20	19	4	5	4	2	1
	50代	31	27	5	4	6	3	1
	60代以上	47	43	3	2	3	0	0
		100.0	91.5	6.4	4.3	6.4	0.0	0.0
割合	<男性>30代	14	12	3	2	2	1	0
	<男性>40代	9	9	2	3	3	1	1
	<男性>50代	19	17	3	2	3	2	0
	<男性>60代以上	24	22	2	1	2	0	0
	<女性>30代	14	13	2	0	0	0	0
	<女性>40代	11	10	2	2	1	1	0
	<女性>50代	12	10	2	2	3	1	1
	<女性>60代以上	23	21	1	1	1	0	0
		100.0	91.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0

【考察】

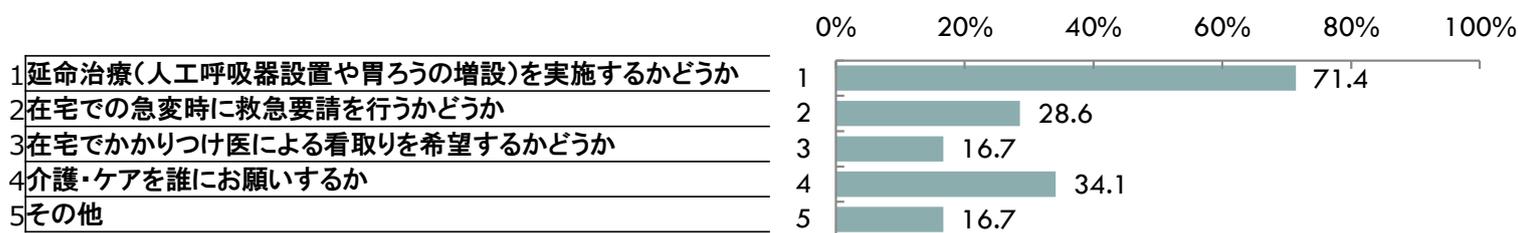
「話し合い(人生会議)をしている」126人が対象。

話し相手としては「ご家族」が90.5%と大多数を占める。複数回答で「親族」の次に「かかりつけ医」が位置しているのも、例年同様の傾向である。

「かかりつけ医」への相談の中では男性40代33.3%に続き、女性50代25.0%である。分母が少ないため参考値ではあるが、まずは医師に相談してから家族・親族との話し合いという流れを推測できる。

Q6で「話し合いをしている」と答えた126人への設問

▶ Q6-2.どのようなことを話し合われていますか。(いくつでも)



		n	延命治療(人工呼吸器や胃ろう)を実施するかどうか	在宅での急変時に救急要請を行うかどうか	在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか	介護・ケアを誰にお願いするか	その他
全体		126	90	36	21	43	21
		100.0	71.4	28.6	16.7	34.1	16.7
性別	男性	66	49	18	15	21	12
		100.0	74.2	27.3	22.7	31.8	18.2
性別	女性	60	41	18	6	22	9
		100.0	68.3	30.0	10.0	36.7	15.0
年代	30代	28	22	10	5	6	2
		100.0	78.6	35.7	17.9	21.4	7.1
	40代	20	12	7	4	7	5
		100.0	60.0	35.0	20.0	35.0	25.0
年代	50代	31	20	9	5	11	8
		100.0	64.5	29.0	16.1	35.5	25.8
年代	60代以上	47	36	10	7	19	6
		100.0	76.6	21.3	14.9	40.4	12.8
割付	<男性>30代	14	12	5	3	3	1
		100.0	85.7	35.7	21.4	21.4	7.1
	<男性>40代	9	6	3	3	2	4
		100.0	66.7	33.3	33.3	22.2	44.4
	<男性>50代	19	13	4	4	4	5
		100.0	68.4	21.1	21.1	21.1	26.3
	<男性>60代以上	24	18	6	5	12	2
		100.0	75.0	25.0	20.8	50.0	8.3
割付	<女性>30代	14	10	5	2	3	1
		100.0	71.4	35.7	14.3	21.4	7.1
割付	<女性>40代	11	6	4	1	5	1
		100.0	54.5	36.4	9.1	45.5	9.1
割付	<女性>50代	12	7	5	1	7	3
		100.0	58.3	41.7	8.3	58.3	25.0
割付	<女性>60代以上	23	18	4	2	7	4
		100.0	78.3	17.4	8.7	30.4	17.4

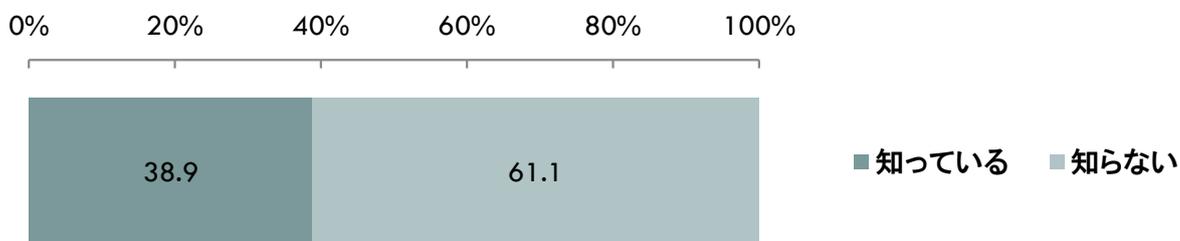
【考察】

話し合いの内容としては、「延命治療」についてが最も多く71.4%。次いで「介護ケアを誰にお願いするか」34.1%、「救急要請」「かかりつけ医の看取り希望」は16.7%である。

「延命治療」について性年代別では、男女ともに、30代と60代以上が連動するように高い数値を示している。これは、延命治療を受ける側とその子供側の課題として、関心が高いのであろうと推測できる。

Q6で「話し合いをしている」と答えた126人への設問

- ▶ Q6-3.人生会議で話し合ったことを書面に残したものを「リビングウイール(事前指示書)」といいます。あなたはこの「リビングウイール(事前指示書)」の存在をご存知ですか。



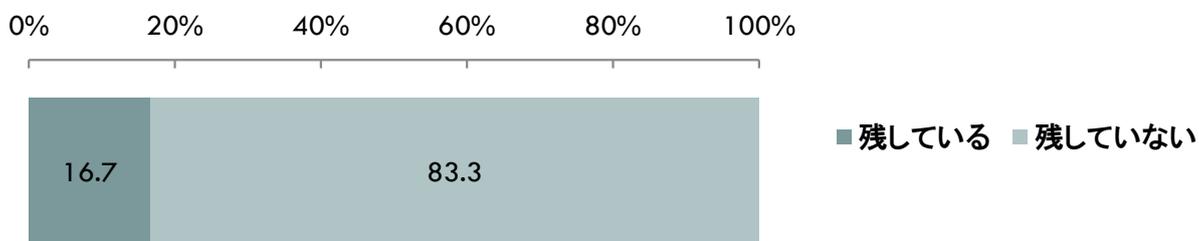
		n	知っている	知らない
全体		126	49	77
		100.0	38.9	61.1
性別	男性	66	28	38
		100.0	42.4	57.6
性別	女性	60	21	39
		100.0	35.0	65.0
年代	30代	28	16	12
		100.0	57.1	42.9
	40代	20	9	11
		100.0	45.0	55.0
年代	50代	31	9	22
		100.0	29.0	71.0
年代	60代以上	47	15	32
		100.0	31.9	68.1
割付	<男性>30代	14	10	4
		100.0	71.4	28.6
	<男性>40代	9	5	4
		100.0	55.6	44.4
	<男性>50代	19	6	13
		100.0	31.6	68.4
	<男性>60代以上	24	7	17
		100.0	29.2	70.8
割付	<女性>30代	14	6	8
		100.0	42.9	57.1
	<女性>40代	11	4	7
		100.0	36.4	63.6
割付	<女性>50代	12	3	9
		100.0	25.0	75.0
割付	<女性>60代以上	23	8	15
		100.0	34.8	65.2

【考察】

「リビングウイール(事前指示書)」そのものの認知度を調査した。「知っている」は38.9%、人生会議をしている126人のなかの約4割である。若い年代の方がやや認知度の高い傾向にある。

Q6で「話し合いをしている」と答えた126人への設問

▶ Q6-4.人生会議で話し合った内容を書面「リビングウイル(事前指示書)」に残していますか。



		n	残している	残していない
全体		126	21	105
		100.0	16.7	83.3
性別	男性	66	12	54
		100.0	18.2	81.8
性別	女性	60	9	51
		100.0	15.0	85.0
年代	30代	28	7	21
		100.0	25.0	75.0
	40代	20	6	14
		100.0	30.0	70.0
年代	50代	31	4	27
		100.0	12.9	87.1
年代	60代以上	47	4	43
		100.0	8.5	91.5
割付	<男性>30代	14	4	10
		100.0	28.6	71.4
	<男性>40代	9	4	5
		100.0	44.4	55.6
	<男性>50代	19	2	17
		100.0	10.5	89.5
	<男性>60代以上	24	2	22
		100.0	8.3	91.7
割付	<女性>30代	14	3	11
		100.0	21.4	78.6
	<女性>40代	11	2	9
		100.0	18.2	81.8
割付	<女性>50代	12	2	10
		100.0	16.7	83.3
割付	<女性>60代以上	23	2	21
		100.0	8.7	91.3

【考察】

話し合いをしている回答者のうち、書面で「残している」は16.7%。アンケート総数との比率ではわずか2.1%が書面として残しているという結果である。全体としてまだまだリビングウイル(事前指示書)の認知は低いといえるだろう。

Q6で「話し合いをしていない」と答えた874人への設問

▶ Q6-5.人生会議という話し合いをされていない理由はなんですか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 興味がない、話し合う必要がない
- まだ話し合う時期ではない(健康である、年齢が若いなど)
- 話し合いをしたいが、話をする人がいない
- その他

		n	興味がない、話し合う必要がない	まだ話し合う時期ではない(健康である、年齢が若いなど)	話し合いをしたいが、話をする人がいない	その他
全体		874	106	464	167	137
		100.0	12.1	53.1	19.1	15.7
性別	男性	434	74	220	83	57
		100.0	17.1	50.7	19.1	13.1
性別	女性	440	32	244	84	80
		100.0	7.3	55.5	19.1	18.2
年代	30代	222	35	124	44	19
		100.0	15.8	55.9	19.8	8.6
	40代	230	29	125	41	35
		100.0	12.6	54.3	17.8	15.2
	50代	219	22	102	49	46
	100.0	10.0	46.6	22.4	21.0	
年代	60代以上	203	20	113	33	37
		100.0	9.9	55.7	16.3	18.2
割付	<男性>30代	111	30	51	24	6
		100.0	27.0	45.9	21.6	5.4
	<男性>40代	116	19	57	23	17
		100.0	16.4	49.1	19.8	14.7
	<男性>50代	106	14	53	19	20
		100.0	13.2	50.0	17.9	18.9
	<男性>60代以上	101	11	59	17	14
		100.0	10.9	58.4	16.8	13.9
	<女性>30代	111	5	73	20	13
		100.0	4.5	65.8	18.0	11.7
	<女性>40代	114	10	68	18	18
		100.0	8.8	59.6	15.8	15.8
<女性>50代	113	8	49	30	26	
	100.0	7.1	43.4	26.5	23.0	
<女性>60代以上	102	9	54	16	23	
	100.0	8.8	52.9	15.7	22.5	

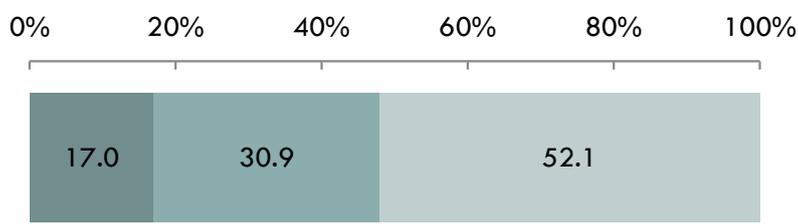
【考察】

「話し合いをしていない」理由として、最も多いのが「まだ話し合う時期ではない」53.1%。以下「話をする人がいない」19.1%、「話し合う必要がない」12.1%と続く。これは昨年度および一昨年度の調査と比べて、近似の状況である。

男女別に見ると、「話し合う必要性」がないとの回答は、男性17.1%、女性7.3%と意識差があり、これも昨年同様の傾向である。

「まだ話し合う時期ではない」との判断は、男性の場合、すべての年代で50数%であるが、女性の場合、30代女性73%と若い世代ほど比率が高く、60代女性54%とその差19%と開きがある。また「話をする人がいない」は50代女性の26.5%が顕著に高い数値となっている。

▶ Q7. 今後、人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いますか。

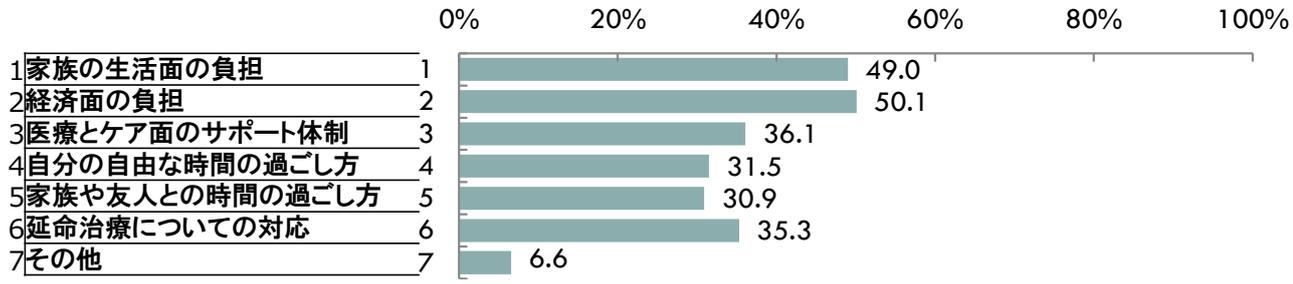


- 思う
- 思わない
- どちらとも言えない

		n	思う	思わない	どちらとも言えない
全体		1000	170	309	521
		100.0	17.0	30.9	52.1
性別	男性	500	78	178	244
		100.0	15.6	35.6	48.8
女性	女性	500	92	131	277
		100.0	18.4	26.2	55.4
年代	30代	250	43	98	109
		100.0	17.2	39.2	43.6
	40代	250	38	80	132
		100.0	15.2	32.0	52.8
	50代	250	44	65	141
	100.0	17.6	26.0	56.4	
60代以上	250	45	66	139	
	100.0	18.0	26.4	55.6	
割付	<男性>30代	125	22	57	46
		100.0	17.6	45.6	36.8
	<男性>40代	125	16	43	66
		100.0	12.8	34.4	52.8
	<男性>50代	125	21	35	69
		100.0	16.8	28.0	55.2
	<男性>60代以上	125	19	43	63
		100.0	15.2	34.4	50.4
	<女性>30代	125	21	41	63
	100.0	16.8	32.8	50.4	
<女性>40代	125	22	37	66	
	100.0	17.6	29.6	52.8	
<女性>50代	125	23	30	72	
	100.0	18.4	24.0	57.6	
<女性>60代以上	125	26	23	76	
	100.0	20.8	18.4	60.8	

【考察】
 今回、新たに追加した設問である。シンポジウムへの参加意向は、「どちらとも言えない」が52.1%とほぼ半数である。具体的な講演内容が示されていないという理由もあるだろう。性年代別では、若い世代ほど「思わない」比率が男女ともに高くなる。特に男性30代57%は際立って高い。ただし。アンケート対象者のITスキルが高く、ネット情報を重視している傾向も加味しておくべきだろう。

▶ Q8.もし、人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。(いくつでも)



属性	性別	年代	割合	テーマ						
				家族の生活面の負担	経済面の負担	医療とケア面のサポート体制	自分の自由な時間の過ごし方	家族や友人との時間の過ごし方	延命治療についての対応	その他
全体			1000	49.0	50.1	36.1	31.5	30.9	35.3	6.6
性別	男性		500	23.2	25.6	15.4	15.2	13.1	14.7	3.4
	女性		500	46.4	51.2	30.8	30.4	26.2	29.4	6.8
年代	30代	30代	250	54.0	55.2	30.4	28.0	32.8	30.0	5.2
		40代	250	14.1	14.3	7.7	8.6	7.6	8.6	1.9
	50代	50代	250	12.0	13.0	9.2	8.7	8.5	8.5	2.1
		60代以上	250	48.0	52.0	36.8	34.8	34.0	34.0	8.4
割合	<男性>	<男性>30代	125	6.1	7.4	3.6	3.6	2.9	3.3	0.4
		<男性>40代	125	48.8	59.2	28.8	28.8	23.2	26.4	3.2
		<男性>50代	125	6.5	7.1	3.0	3.9	3.3	2.9	1.2
		<男性>60代以上	125	52.0	56.8	24.0	31.2	26.4	23.2	9.6
	<女性>	<女性>30代	125	5.5	6.4	4.2	4.6	4.2	4.0	1.1
		<女性>40代	125	44.0	51.2	33.6	36.8	33.6	32.0	8.8
		<女性>50代	125	5.1	4.7	4.6	3.1	2.7	4.5	0.7
		<女性>60代以上	125	40.8	37.6	36.8	24.8	21.6	36.0	5.6

【考察】

「家族の生活面の負担」は、特に30代40代の女性にとって重要であり、「経済面の負担」は、特に30代40代の男性にとって重要なテーマという結果である。介護される側としては、「サポート体制」が重要になる。「家族や友人との時間の過ごし方」において30代女性が53%と際立っている。また「延命治療の対応」は40代60代女性の関心が高い。

【総括】

本調査は、長野県民1000人を対象にした、在宅医療・人生会議に関するアンケート調査である。調査媒体はインターネット。ある程度のITスキルを持った方が回答者である。また数年間に渡って実施している設問項目がある。

「人生会議」の認知度など基本項目に関しては、継続調査と比較して、大きな変化は見られなかった。人生会議を「知っている」割合は微増しているものの13%にとどまり、まだまだ一般には知られていない現状である。性別で見ると、女性のほうが人生会議への関心が高く、情報収集への意欲も強い傾向にある。年代別では、介護世代である30代40代と被介護世代である50代60代以上では、当然ながら、意識の相違が数値として示された。

今後、人生会議や在宅医療について、幅広い世代の県民理解をより深めるためには、マスメディアによる広報広告キャンペーンが必要である。さらに、高齢化社会の進展のなか、ライフスタイルや価値観の多様化も考慮しつつ、性別・世代別によるきめ細かなメディア戦略も求められる。